

2026年1月30日

報道機関各位

阪急阪神ビルマネジメント株式会社  
株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神

## 阪急阪神ビルマネジメントと エキ・リテール・サービス阪急阪神の合併について

阪急阪神ビルマネジメント株式会社（以下「H H B M」、本社：大阪市北区、社長：北野研）と株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神（以下「E R S」、本社：大阪市北区、社長：小林啓輔）は、2026年4月1日付で合併することとしましたので、お知らせします。

### 1. 合併の主旨・目的

阪急阪神ホールディングスグループでは、阪急三番街、阪急西宮ガーデンズ、ハービスP L A Z A・同E N T等の商業施設や大阪梅田ツインタワーズ等のオフィスビルのプロパティマネジメント（運営管理、以下「P M」）をH H B Mが担っております。一方で、阪急・阪神・北大阪急行沿線の駅ナカ店舗等に関してはE R SがP Mを担い、駅ナカビジネスを展開してまいりました。

今般、H H B MがE R Sを吸収合併することにより、H H B MとE R SのP M業務を整理・統合して経営効率を高めるとともに、駅ナカ・駅ソトを問わず一体的に沿線価値を一層向上させることができる体制を構築します。

このたびの合併で、H H B Mは、西日本を代表するP M会社として、駅ナカ・駅ソトの店舗からオフィス、クリニック、スクールまで6,000区画以上の多様な業種・用途の物件の運営管理を担うことになります。「ここに住みたい」「ここを訪ねたい」「ここで働きたい」「ここに通いたい」とより多くの方に思っていただけの、多様で多面的なまちの魅力づくり（圧倒的N o. 1の沿線の実現）に向けた取組をさらに加速してまいります。

### 2. 合併によりE R SからH H B Mへ移管する主な事業

駅ナカ店舗等の賃貸事業、自動販売機事業、コインロッカー事業等  
(阪急電鉄沿線への旅客誘致等の事業は、阪急電鉄に移管します)

### 3. 合併の手法

H H B MがE R Sを吸収合併します。

### 4. 合併日

2026年4月1日（水）（予定）

以上

【ニュースリリース配付先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

《 本件に関するお問い合わせ先 》

阪急阪神ビルマネジメント株式会社 人事総務部 TEL. 06-6372-7900

株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 経営企画部 TEL. 06-6373-5346